



平成30年度

# 学校経営書



## 伊豆市立 中伊豆中学校

〒410-2505 静岡県伊豆市八幡 407

TEL<0558>83-0032

FAX<0558>83-0461

E-mail n-jhs@school.city.izu.shizuoka.jp

## 1. 学校の概要

- 1 校 名 伊豆市立中伊豆中学校
- 2 所在地 静岡県伊豆市八幡407 (東経138度59分 北緯34度50分 海拔140m)
- 3 学校規模 生徒数 149名 学級数 6学級 常勤職員数：県費15名 市費2名
- 4 校地等 総面積 21,837㎡ 運動場 10,107㎡ 建物敷地 8,783㎡ その他 2,945㎡
- 5 沿革の概要

- 昭和38.4.1 八岳中学校、八幡中学校、白岩中学校が統合して中伊豆町立中伊豆中学校創立  
3教場で分散教育を実施
39. 3 校歌制定 作詞・木俣 修、作曲・沖 不可止  
3 校舎一期工事終了  
10 校舎二期工事終了、新校舎竣工  
11 技術・家庭科室竣工
41. 1 屋内体育館竣工 (同年4月プール竣工)
44. 8 運動場に散水施設設置
48. 9 完全給食を開始
53. 1 テニスコート工事完成
53. 1 前庭に校訓碑建立 (同年8月 校舎南側窓サッシ入れ替え工事)
- 58.12 東部教育事務所長杯授賞式
59. 8 東側3階校舎の耐震補強工事完了
60. 8 部室(6室)設置、体育器具庫改築  
9 西側3階校舎の耐震補強工事完了
62. 4 文部省指定道徳教育協同推進校 (同年12月柔道場竣工)
63. 3 テニスコート新設  
10 文部省指定道徳教育協同推進校研究発表会
- 平成2.11 体育館屋根全面塗装工事・補修工事
3. 8 OA教室床改修・教室廊下の壁改修
4. 2 生徒会が善行表彰を受ける(県積善会)  
5 日本善行会より善行表彰を受ける  
7 コンピュータ教室にコンピュータ21台設置
- 5.11 体育館防水工事 (同年12月グラウンド整備・散水設備設置)
6. 4 第13期静岡県福祉教育実践校指定(3年間)
7. 1 体育館の屋根防水工事・電気改修工事  
8 給水管改修工事・防球ネット改修(東側)工事、9教室にテレビ・ビデオ設置
9. 1 生徒会が善行表彰を受ける(県積善会)  
9. 9 コンピュータ38台設置、放送室を3階に移転
10. 8 部室増築工事、技術科室屋根塗装工事、電源改修工事
11. 8 体育館屋根塗装工事、外トイレ・グラウンド改修、グラウンド防球ネット
12. 1 全日本交通安全協会長優良学校受賞  
12. 4 文部省地域指定「学校におけるボランティア等活用推進事業」(2年間)
14. 2 はごろも教育奨励賞学校賞受賞
15. 8 1階相談室・事務室拡張工事 プール解体工事
16. 3 伊豆市光ファイバーネットワーク設置工事
16. 4 4町の合併に伴い、伊豆市立中伊豆中学校となる
22. 7 技術科棟耐震補強工事着工  
2 技術科棟耐震補強工事完了
24. 7 体育館解体工事着工
25. 8 体育館建築工事完了
27. 3 外トイレ改修

## 2. 経営の基盤

### (1) 学区の概要

平成16年4月1日の町村合併により、中伊豆町、修善寺町、天城湯ヶ島町、土肥町の4町をもって伊豆市が発足した。生徒は、大見、大東、八岳の各小学校から進学していたが、平成23年4月に中伊豆小学校に統合になった。中伊豆地区は伊豆半島の中央部に位置し、東は伊東市、西は修善寺地区及び天城湯ヶ島地区に界し、南は天城連山を境に賀茂郡に、北は年川を境に修善寺地区に接している。中伊豆地区は東西10.66km、南北17.22km、総面積110km<sup>2</sup>で、そのうち山岳森林地帯の面積は、99km<sup>2</sup>で全体の90%を占めている。

### (2) 学級編成

学年	組	男	女	計	学年計	会員数	学年	組	男	女	計	学年計	会員数
1年	1	12	10	22	43	20	2年	1	16	9	25	49	25
	2	11	10	21		14		2	14	10	24		23
3年	1	15	13	28	57	28	全校	84		65	149	139	
	2	16	13	29		29							

### (3) 地区別生徒数

地区	筏場	貴僧坊	姫之湯	菅引	地藏堂	原保	戸倉野	中戸	大東	持越	ハルウ	柳瀬	宮上	梅木	八幡	城	梶山	関野	元村	小川	久保	清水	西田	上和田	ニュー	学区外	計
生徒数	3	2	1	1	13	7	5	1	13	3		10	37	5	4	3	11	11	3	11	4	0	0	149			
会員数	3	2	1	1	11	7	5	1	12	3		9	34	5	4	3	9	11	3	10	4	0	0	139			

### (4) 教職員一覧表

No.	職名	氏名	担任教科等	No.	職名	氏名	担任教科等
1	校長	相馬美樹子		15	副校長	松井 清高	2年主任 社会
2	教頭	久保田正基	数学	16	事務職員	菅野 友希	臨時事務職員
3	教諭	小野喜代美	1年主任 英語	17	市主査	浅田佐智子	市事務主査
4	教諭	山田 清直	3年主任 数学	18	用務員	古谷 敦子	
5	教諭	三枝 史典	1-1 歯 技術理科	19	支援員	渡邊みずず	
6	教諭	荒川和津子	3-2 学習 道徳 音楽家庭	20	支援員	平井 千春	
7	教諭	山崎 裕	教務 特支C 国語	21	司書	田上佐智子	
8	教諭	岩脇 祐樹	2-1 研修 国語	22	相談員	大塚 明	
9	教諭	井上 嶺太	2-2 特活 保体	23	非常勤講師	石井 良明	1年 社会
10	教諭	秋元 一徹	3-1 隣生絵 理科	24	ALT	ジョルダンブラッキ	
11	教諭	乾 理子	1-2 人権副教科 英語	25	S・C	竹内 秀美	
12	養護教諭	内田 茂代		26	情報支援員	城所 長弘	
13	養護教諭	青嵐 素晴		27	非常勤講師	小林みどり	美術全学年
14	事務主任	五反田淳代	育休中	28	非常勤講師	阿部 由紀	1、3年 家庭
				29	SSW	前田みどり	

### 3. 経営方針

新学習指導要領の趣旨である生きる力の育成に向けて、教育課程を工夫する。生徒の課題である（自主性、主体性、コミュニケーション能力、自尊感情）を育成する手段として本校の特色である「ふるさと」との関わりを踏まえ、学校の活力を生み出し、地域に力を与える教育活動の充実に努める。学校教育目標「学びを深め、志を持って挑戦する生徒」を達成するために、組織的な学校運営を行い、温度差のない学年・学級経営に務め、教職員の意識改革を進めると共に、学校力の向上を目指す。そこで、本校の生徒の実態を踏まえて、平成30年度は次の5点（①教育観の共有②協育③共育④響育⑤郷育）を学校経営の基本方針とする。そして、生徒が、保護者が、教職員が「中伊豆中学校で学んでよかった」と思える学校づくりに努めていきたい。

- |          |                                          |
|----------|------------------------------------------|
| 1 教育観の共有 | 一人一人の意欲を引き出し、確かな学力につなげる指導観・生徒観・授業観の共有と実践 |
| 2 協育     | 全教職員が、チーム中伊豆中の一員として生徒の自己実現（夢作り）に努める      |
| 3 共育     | 生徒、保護者、地域に信頼され、愛される中伊豆中学校づくりを進める         |
| 4 響育     | こ小中地域連携、学校行事、道徳科をつなげ、全教育活動で自尊感情と主体性を育てる  |
| 5 郷育     | 教材開発や人材活用を工夫し学校の活力を生み出しふるさとに誇りを持つ教育活動推進  |

### 4. 研修全体構想

#### 学校教育目標

学びを深め 志を持って 挑戦する生徒

研修テーマ「自ら学習に向かい 学び合いを通して 力が付く授業づくり」

〈仮説〉生徒に付けたい力を明確にし、学びたいと思う学習課題の提示、解決の見通しを持つための学習形態を設定していけば、仲間と関わり合う中で、伝え合う楽しさや分かる喜びを味わい、知識を関連付けながら深く学ぶことができるだろう。

#### 子どもの姿のイメージ

①自ら学習に向かう子	②学び合いをする子	③力が付く子
<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心を持って主体的に家庭学習に取り組む工夫（問いを生む授業）</li> <li>・課題発見力を鍛え、追求課題を持ち、学習活動をつなげる</li> <li>・自分で判断し、見通しを立てる力の育成（学習の基盤は学年経営）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の意見を聞き、自分の考えと比較して、関わり合い、学びを広げる</li> <li>・他との関わりや表現する場の設定</li> <li>・道徳の授業改善を通して、多面的多角的に考える指導と評価の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を自分の言葉で表現する</li> <li>・学びを実生活で転用していく力を伸ばす</li> <li>・学びの実感を持つ（学力向上）</li> <li>・問いを新たに持つ（オープンエンドの授業の工夫）</li> <li>・自己の成長を把握する評価の工夫</li> </ul>

#### (1)「分かる」授業づくり ～焦点化・視覚化・共有化～ 新学習指導要領の理解・実践

- ① 付けたい力の明確化 ② 学習課題の工夫 ③ 多様な学習形態  
④ 初任研、若手研、中堅研、地域支援課訪問を活用した授業改善による指導力向上

#### (2)「特別の教科 道徳」に向けた体制づくりと授業改善

- (3)不登校未然防止研修 ①生徒理解を中心としたチーム対応の確立 ②見取りシートの活用

# 中伊豆中学校 グランドデザイン～2018～

<国の基本理念>  
生きる力の育成

<静岡県の基本理念>  
「有徳の人」の育成

<伊豆市の基本理念>  
ふるさと伊豆に誇りを持ち、夢やこころざしを持って、心豊かに生きる子どもの育成

**校訓** 努力は必ず報われる

**学校教育目標**

学びを深め 志を持って 挑戦する生徒

研修テーマ 自ら学習に向かい 学び合いを通して 力が付く授業作り

## 中伊豆中学校の挑戦

**「授業が分かる」と実感する生徒90%以上**

**「学校が楽しい」という生徒95%以上**

**「夢や自分なりの目標を持っている」という生徒90%以上**

新学習指導要領を踏まえた主体的対話的授業  
地域教材の開発(オリパラジオ学習・伊豆の文学等)  
家庭学習とリンクした、学ぶ意欲を育む学習指導  
居場所のある学年・学級経営  
道徳科重点「自主、自律」「思いやり」「郷土愛」  
読書活動の推進 ICTの活用 ユニバーサルデザイン

【地域・家庭から信頼され愛される中伊豆中学校】連携強化  
・かたりかけ・読花使・交通安全、小学校運動会ボランティア  
・小中交流合唱・保育実習・親子挨拶運動・防災訓練  
・家庭教育学級・激励会・部活動交流会・P奉仕作業資源回収  
・生徒会活動の活性化・緑流祭・いじめの未然防止対策委員会  
・学校評価の分析、活用・SC、SSW等専門機関との連携  
・ステージ制の導入 学校生活のPDCAサイクルの活用  
・マメザクラの植樹

よりよく生きるための基盤となる道徳科授業の改善  
キャリア教育・進路相談の充実  
職業講話、職場体験、福祉体験、高校見学、高校説明会、卒業生講話、英語・数学・漢字検定  
学力学習状況調査の分析を活かした教科指導  
特性の把握  
傾聴と見取りシートを活用したチーム対応  
夢を育む伊豆市ならではのオリンピック学習の企画



中学生6つの誇り  
積極的な挙手・発表  
時間を守る  
さわやかな挨拶  
無言清掃  
部活動での挑戦  
響き合う合唱

Action

「チーム中伊豆」

「Be Teacher」

- ①強い使命感倫理観と生徒への深い教育的愛情を持ち続けている教員
- ②ワークライフバランスを保ち、学び続ける教員
- ③明るく元気で、協働的な教職員集団

Plan



Check

保護者・地域連携

- ふるさと伊豆の特色を活かした教育課程の評価
- 「中学生は地域に何が出来るか」地域貢献
- 広報(情報発信)と広聴(情報収集)の工夫
- 行政、外部機関との連携検証

Do

確かな学力 知 ○「わ・た・し」の授業  
分かる・楽しい、生徒が主役の授業実践 ○研修風土の醸成  
自主性・主体性 徳 ○みんなで創る、生徒会活動の活性化  
人・地域・体験との関わりを通しての自尊感情の育成  
話し合い活動・感動体験の充実・教える・まかせる・かかわる  
健やかな心身 体 ○目標をもち、粘り強く運動に取り組める安心安全な環境づくり  
食育及び生活リズムの啓発(家庭との連携)で意欲を育てる

カリキュラム・マネジメント

ふるさと ～教育観共有 協育 共育 響育 郷育～

生徒の実態

- 素直 ○素朴 ○健気 ○無邪気
- 思いやりある行動
- ▲自主性、主体性、積極性の未熟さ
- ▲コミュニケーション能力、自尊感情の未熟

教職員・学校の実態

- 持ち味の発揮 ○小回りのきく組織
- 個に応じた配慮 ○共感的な生徒理解体制
- ▲教科指導、分掌への創造性の不足
- ▲生徒、環境への甘え

地域の実態

- 学校教育への絶大な理解
- 温かい協力体制と支援
- ▲施設老朽化
- ▲生徒数減への危機

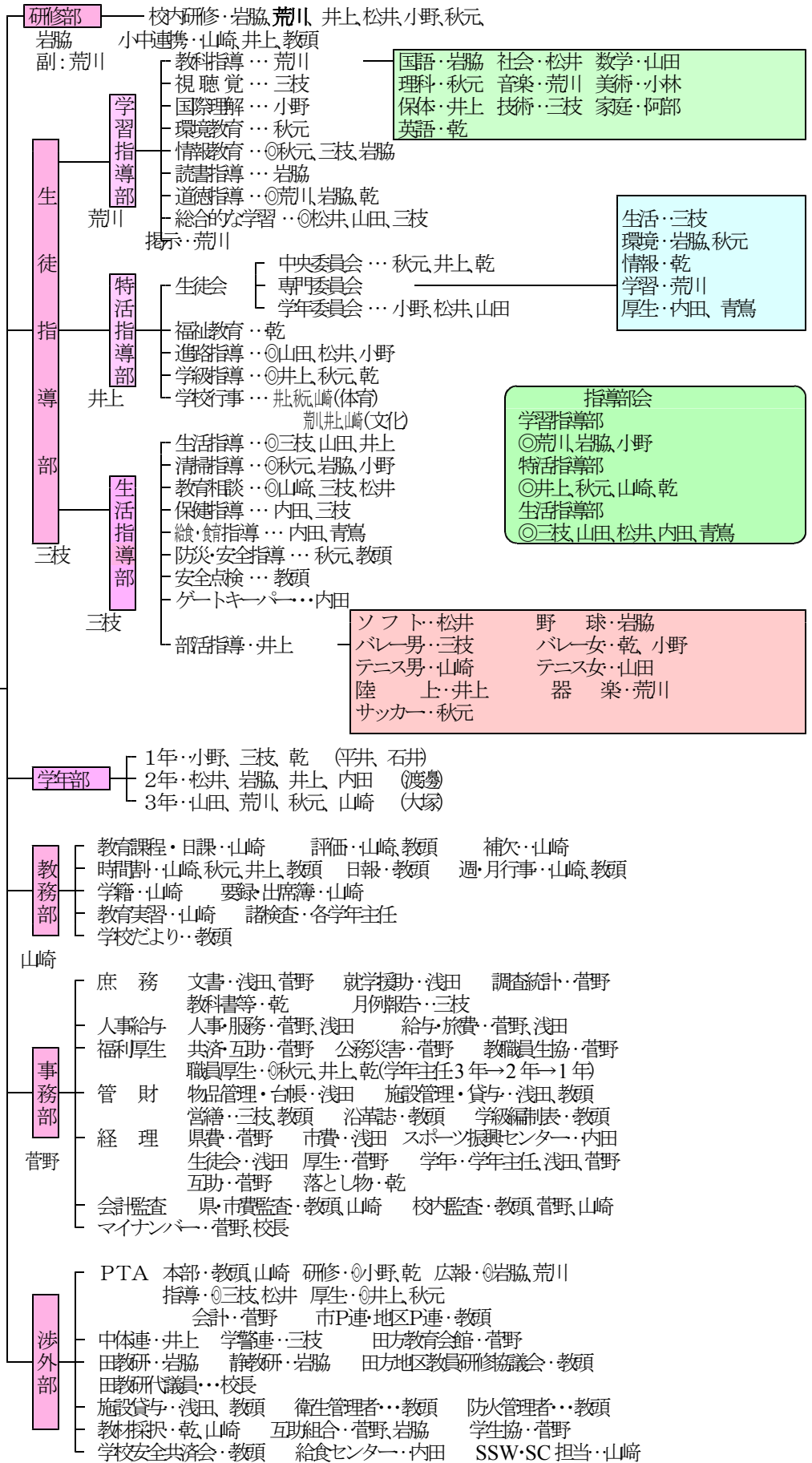
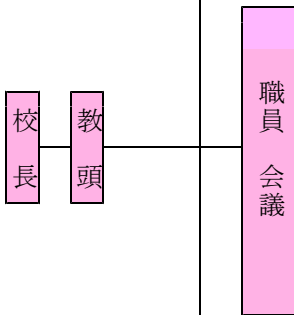
中中を支える事務

適切な予算執行と校務の効率化の工夫

# 6. 学校運営組織

教務主任	山崎
1年主任	小野
2年主任	松井
3年主任	山田
生徒指導主事	三枝
進路指導主事	山田
研修主任	岩脇
学習指導主任	荒川
道徳主任	荒川
特別活動主任	井上
事務主任	菅野
保健主事	内田
生涯学習担当	松井
人権教育担当	乾
特別支援教育	山崎
防火管理者	教頭

運営委員会	
校長、教頭、教務主任	
学年主任、生徒主事、特別主任	
学習主任、事務主任	



## 7. 教育課程

### (1) 学期の終始・年間授業日数

学 期	始業式 (入学式)	終業式	授業日数	総授業日数
1 学期	4 月 5 日 (木) 4 月 6 日 (金)	7 月 2 4 日 (火)	7 5 日 (1 年生 7 4 日)	2 0 7 日 (1 年生 2 0 6 日)
2 学期	8 月 2 7 日 (月)	1 2 月 2 1 日 (金)	8 1 日	
3 学期	1 月 7 日 (月)	3 月 2 0 日 (水)	5 1 日	

### (2) 時間配当表

	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体	技 ・ 家	英 語	小 計	道 徳	総 合 的	学 活	合 計	生 徒 会	行 事	総 時 数
1 年	144	108	144	109	46	46	108	72	144	921	36	53	58	1068	11	48	1127
2 年	144	109	109	144	37	37	109	72	144	905	36	71	60	1072	11	49	1132
3 年	109	144	144	144	37	37	109	37	144	905	36	71	58	1070	11	45	1126

### (3) 週日課表

※生徒会の日 16:00～

※上段は平常日課、下段は短縮日課 (11月から2月まで専門委員会がある日は部活動なし)

登校 7:50	月	火	水	木	金
朝読書 : 8:00～8:15		職員打合せ	朝礼・集会	読花使	
朝の会 : 8:15～8:25					
第1校時 8:30～9:20 (8:30～9:15)					
第2校時 9:30～10:20 (9:25～10:10)					
第3校時 10:30～11:20 (10:20～11:05)					
第4校時 11:30～12:20 (11:15～12:00)			道徳		
給食 12:25～12:50					
昼休み 12:50～13:15					
第5校時 13:20～14:10 (13:00～13:45)					
第6校時 14:20～15:10		立志学習	清掃 14:15～14:30	立志学習	学活
清 掃 15:15～15:30			帰りの会 14:35～14:50		
帰りの会 15:35～15:50			チャレンジタイム 14:50～		
部活動: 終了は季節時間				生徒会の日	

※ 立志学習 → 総合的な学習。まとめ取り方式をとるため、普通授業の週もあり。

※ 読花使 → 地域の方々による読み聞かせ

※ チャレンジタイム → 基礎学力定着のための補充学習 (国語・英語・数学)

# 8. 教室配置図

